

# カムカムはっぴい

発行元  
石 銘 地 番 株 有 限 公 司  
青森市堤町 1-3-16  
TEL 017-775-1483  
FAX 017-723-5756  
フリーダイヤル  
0120-75-1483

雪が融け春らしくなってきましたね。今年の桜開花はいつ頃でしょうか。

さて、バンクーバーオリンピックでは残念ながらチーム青森は予選突破できませんでした。

夜中の試合放送が見れないぶん、日中の試合は応援に



グツと力が入っていました。『仕事中に何をしているの』というご指摘ありがとうございます。これまでも応援してきたのでオリンピックという大舞台での活躍は、かなり気になりハカハカしていました。

トリノからバンクーバーまでの四年間に積み上げてきたもの全てを持って戦う。勝負の世界とは想像以上に厳しいものだと思えました。しかし、その厳しさがあるからこそ人々に感動を与えるのでしょうか。

チーム青森の笑顔はもちろん、涙も素敵だったと思います。

『お疲れさま、感動をありがとう』  
今はそんな気持ちでいっぱいです。

ところでカーリングと言えば、当社で制作しているカーリングミニストーン、競技用のストーンを忠実に再現した質感のあるミニチュアです。蓋が津軽塗りになっている小物入れもあります。



当社ショールームにて飾っておられますので、興味のある方はお出かけがてらにも寄っていただくと嬉しいです。「カーリング小ね

ぶた」と一緒にお待ちしております♪



国道沿い堤本店に展示しています

## 春のお彼岸です

今年も春のお彼岸の季節となりました。お墓参りに行くと、まだ雪が残っているかと思えます。墓石周りの雪かきをしてスコップをぶつけてしまうと石が欠けてしまう可能性がありますのでお気をつけください。  
\*春彼岸とは:  
春彼岸とは三月二十一日ごろ(春分の日)を中心とする七日間をいいます。彼岸とは極楽浄土のことで、私たちが生きているこの世界のことは此岸(しがん)といえます。

春分の日には昼と夜の長さが

## パワーストーンのお話

同じになり太陽は極楽浄土があるとされている真西に沈むため、この日、彼岸に行ってしまった先祖を供養し同時に自分も彼岸に行けるように祈る習わしが生まれたのです。  
お彼岸の初日の三月十八日ごろを「彼岸の入り」、真ん中にあたる春分の日を三月二十一日ごろを「彼岸の中日」、終日を「彼岸の明け」といいます。

誕生石にはどんな意味があるのか、パワーストーンの扉を開けてみましょう♪  
三月の誕生石  
【アクアマリン】

アクアは水、マリンは海の意味。海水を思わせる澄んだ水色をしています。

別名「人魚石」とも呼ばれ、古代人はこの宝石を海の豊かさや包容力のシンボルとして、安全な航海を約束してくれ

てくれる護符として用いました。気分



## イベントの報告

先月のイベントで『ひなまつりフラワールンジメント講習会』を行いました。桃や胡蝶蘭など春らしいお花を取り入れたアレンジ。講師は石鳥敏子先生にお願いしました。

生け花は剣山に「さす」と言いますが、アレンジはオアシスに「おす」と言うそうです。おしていく手順だけではなく、背の高い花や流れを出す花など特徴の活かし方を交えて教えていただきました。

まったくの初心者である筆者にも優しく手ほどきし

ていただき、飾ったお花を見るたびに「お花つて良いものだなあ」とにやけてしまいました(笑)



それぞれ思い思いに生けてます

受講者の方々にも好評で「次はいつやるの?」という嬉しいお言葉をいただきました。

そこで次回のイベントとして、『こどもの日フラワーアレンジメント講習会』を四月下旬に開催したいと思えます。まだ日時などは未定ですが受講してみたいと思う方は当社へお電話ください。日程が決まり次第、こちらからお知らせ致します。

フリーダイヤル  
0120-75-1483



完成したフラワーアレンジ

スタッフじゅりこの  
ほのぼの育児日誌

イトコが子供の写メールを送ってきた日のこと。二才の男の子で髪が全体的に短くなってサッパリしてたんです。それに触発された私は息子が寝静まった後、任務遂行。  
寝ながら溜め息をつく息子にビクビクしつつチョコキ、チョコキ。  
明日の朝はサッパリ終くん、だ♪とウキウキしつつチョコキ、チョコキ。  
切りすぎたかな?と思いがらも任務を終えた私はスッキリ、サッパリ。  
しかし朝、起きた息子を  
見て愕然。見事なパツツン前髪&オンザまゆ毛!

何もわからない息子は私に微笑みかける、かける。その笑顔が心につきささる、つきささる(笑)  
私も母に同じように切られたことがあり、悲劇(?)は繰り返されるのね:  
と思ったのでした。



千の風になって  
(千の風のなかに)

三月四日に東奥日報社生活文化部の記者さんが、当社に取材にいらつしゃいました。夕刊に載せる記事で墓地とお墓を選ぶポイントは何?とのこと。  
「お墓はなんのために建てるのでしょうか」私の一番言いたかったことです。先祖を祀る、故人を偲ぶ、業績を讃える、家族へメッセージを残す、個性的なモニュメントをつくる...、あとそれから、お墓は建てないという考えも話しました。アメリカで見たお墓の写真も見てもらいました。たぶ

ん狩猟民族の伝統でしょうが土地に執着しない文化から生まれた個性的なお墓の写真。一方、インド仏教から中国朝鮮半島経由で伝わった仏教文化と日本に仏教伝来の前からあった先祖を大切にす、土地定住型の農耕民族のお墓など。いずれも長い時間をかけて作り上げられた形です。

十三年前に研修で訪れたアメリカのケンタッキー州の墓地に日本でも有名になった詩「千の風になって」の英文を彫ったお墓がありました。作者不詳のこの詩は、微妙に違ったバージョンがあるようです。特に次の部分はニュアンスがかなり違っています。

*I am a thousand winds  
that blow.*

私は千の風になっています

*I am in a thousand winds  
that blow.*

私は千の風のなかにいます

たった一語、目のあるなしですが、私は目が入っている

るほうがいいなと思つています。

今、青森の八甲田霊園では、個性的なデザインのお墓がいろいろつくられています。そのなかに、どんなメッセージを込めていくかを大切にすしてほしいと感じます。そんな時お客様にとつて、私たち石屋がよいアドバイスができるように精進し続けようと思つています。  
(番地常夫)

お知らせ

三号続けてお送りしてきた「カムカムはっぴい」ですが次号から季刊誌となります。次号はお盆前に夏号としてお届けします。お楽しみに♪

編集後記

冬のスポーツが好きで冬季五輪はよく見ます。カーリングとモーグル、フィギュアは感動で涙なしでは見られませんでした。努力したり、頑張っている姿は素敵でした。(じゅりこ)